

認定プログラムの名称	ASNITE 認定プログラム
認定番号及び付加情報	ASNITE 0058 T
初回認定日	2011年9月20日
最新交付日	2017年7月19日
認定された事業所の名称 及び所在地	株式会社住化分析センター 千葉ラボラトリー 〒299-0266 千葉県袖ヶ浦市北袖9番地1 法人番号 2120001026468
問い合わせ窓口	Tel: 0438-64-2284 Fax: 0438-62-5089
備考	当該認定事業者は、試験事業者として、ISO/IEC 17025:2005(JIS Q 17025:2005)に適合しています。

認定区分			試験項目/試験対象	試験規格番号
カテゴリー	サブカテゴリー	試験技術		
化学製品	その他	LC (液体クロマトグラフィー)	ホルムアルデヒド 及びアセトアルデヒド / 塗料、接着剤及び建築材料	JIS A 1901 JIS A 1902-1 JIS A 1902-2 JIS A 1902-3 JIS A 1902-4 (一部変更*4)
		GC/MS (ガスクロマトグラフィー質量分析)	VOC (8項目)*1/ 塗料、接着剤及び建築材料	JIS A 1901 JIS A 1902-1 JIS A 1902-2 JIS A 1902-3 JIS A 1902-4 (一部変更*4)
		LC (液体クロマトグラフィー)	ホルムアルデヒド 及びアセトアルデヒド / 消耗品*3のない電子製品	ISO/IEC 28360 ECMA-328 ISO 16000 [JIS A 1901] JIS C 9913 (一部変更*4) PCおよびタブレット端末に関するVOC放散速度指針値(第1版) [一般社団法人電子情報技術産業協会]
		GC/MS (ガスクロマトグラフィー質量分析)	VOC (8項目)*1/ 消耗品*3のない電子製品	ISO/IEC 28360 ECMA-328 ISO 16000 [JIS A 1901]
		LC (液体クロマトグラフィー)	VOC (3項目)*2、 ホルムアルデヒド、 アセトアルデヒド、 オゾン、粉じん、 FP(微小粒子)及び UFP(超微小粒子) / 消耗品*3のある電子製品	ISO/IEC 28360 ECMA-328 (RAL-UZ171 Option)
		GC/MS (ガスクロマトグラフィー質量分析)		
		化学発光法		
重量分析				
微粒子測定				

認定区分			試験項目/試験対象	試験規格番号
カテゴリー	サブカテゴリー	試験技術		
化学製品	その他	GC/MS (ガスクロマトグラフィー質量分析)	VOC (3項目)* ² 、 オゾン、粉じん、 FP(微小粒子)及び UFP(超微小粒子) / プリント機能付の 事務機器	Test method for the determination of emissions from hardcopy devices within the award of Blue Angel Ecolabel for equipment within printing function according to RAL-UZ171(BAM) Test method for the determination of emissions from hardcopy devices within the award of Blue Angel Ecolabel for equipment within printing function according to RAL-UZ205(BAM)
		化学発光法		
		重量分析		
		微粒子測定		
		GC/MS (ガスクロマトグラフィー質量分析)	VOC (8項目)* ¹ 及び総揮発性有機化合物 (TVOC)/ 消耗品* ³ のない電子製品	JIS C 9913 (一部変更* ⁴)
		GC/MS (ガスクロマトグラフィー質量分析)	VOC (8項目)* ¹ / 消耗品* ³ のない電子製品	PCおよびタブレット端末に関するVOC放散速度指針値 (第1版) [一般社団法人電子情報技術産業協会]
重量分析	ニコチン純度/ タバコ及びタバコ製品	ISO 13276(E)		

*1 VOC (8項目):

トルエン、エチルベンゼン、*o*-キシレン、*m*-キシレン、*p*-キシレン、スチレン、*p*-ジクロロベンゼン、*n*-テトラデカン

*2 VOC (3項目):

ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物(TVOC)

*3 消耗品:

トナー、インク、紙及びインクリボン

*4 一部変更内容

JIS 規格番号	一部変更項目とその内容
JIS A 1901	8.1 試験条件のモニタリング：連続的なモニタリングは行わず、間欠的に記録を取る。 8.3 チャンバー内の換気回数：換気回数のチェックは行わない。 8.4 チャンバー内の換気性能係数：測定のための試験は行わない。 8.5 回収率及びシンク効果：測定は行わない。 15 報告書：e) 試験条件「物質伝達率」、f) 測定機器（使用した機器等）を記載しない。
JIS A 1902-1	4. サンプルの採取、包装及び保管：サンプルの採取は分析依頼元（顧客）が実施する。 10. 報告書：サンプル採取を顧客が実施した場合、採取年月日、包装、保管の方法、物質伝達率を記載しない。
JIS A 1902-2	4. サンプルの採取、包装及び保管：サンプルの採取は分析依頼元（顧客）が実施する。 9. 報告書：サンプル採取を顧客が実施した場合、採取年月日、包装、保管の方法、物質伝達率を記載しない。
JIS A 1902-3	5.7.4 状態の監視：チャンバー内の温度及び湿度は記録を行わない。 6. 報告書：サンプル採取を顧客が実施した場合、採取年月日、包装、保管の方法、物質伝達率を記載しない。
JIS A 1902-4	4. サンプルの採取、包装及び保管：サンプルの採取は分析依頼元（顧客）が実施する。 10. 報告書：サンプル採取を顧客が実施した場合、採取年月日、包装、保管の方法、シール方法、シール材、物質伝達率を記載しない。
JIS C 9913	8.5.1.3 バックグラウンド濃度の測定：チャンバーを換気回数 4 回/h で運転し、1 時間以上経過後に測定する。 8.5.1.5 試験対象機器の準備：試験対象機器の準備条件は試験報告書に記載しない。 9 試験報告書：b) 試験対象機器の履歴、c) 使用した装置及び方法〔標準物質及び校正方法〕、バックグラウンド濃度を記載しない。

(以 上)